



2020年サントリー地域文化賞受賞

2023年新潟日報文化賞受賞

得故菩提薩埵依般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空即是色受想行識亦復如是舍利子色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子色不異空空即是色受想行識亦復如是舍利子色即是空空即是色受想行識亦復如是



ねずみ経

原作・小泉八雲『怪談』より無受

人形浄瑠璃猿八座



6月9日(日)

2024年 13:00 開場 13:30 開演 15:00 終演予定

写真：笹川浩史

会場 | 多目的ホール(ドナルド・キーン・センター柏崎 3階)
 定員 | 50名(要予約)
 鑑賞料 | 1,000円
 (当日会場にて猿八座応援金として募金し、全額を猿八座へ寄付します。)
 ※当館への入館料は別途必要です。
 問合せ | 0257-28-5755(ドナルド・キーン・センター柏崎)

ドナルド・キーン・センター 柏崎 DONALD KEENE CENTER KASHIWA

無有恐怖遠離一切顛倒心以老乃無不復空見

<耳なし芳一あらすじ>

昔、下関の阿弥陀寺に、琵琶法師の芳一という男がいました。幼いころから目が不自由でしたが、琵琶の弾き語り、特に壇ノ浦の合戦は真に迫るものがありました。ある夏の夜、芳一は身分の高い方からの使者に連れていかれた場所で、請われるままに琵琶を弾くことになります。すると、続けて三晩通うように告げられ、このことは口外しないように約束させられます。約束を守り、固く口を閉ざす芳一の様子を不審に思った和尚は翌晩、芳一のあとをつけさせ、平家の亡霊に憑りつかれていることを知ります。そこで和尚は一計を案じ……。

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が妻セツから聞いた昔話をもとに書いた「怪談」の中の一編を人形浄瑠璃に翻案してご覧いただきます。

<ねずみ経あらすじ>

昔、ひとり暮らしのおばあさんの家に、旅の坊さんが泊まりました。おばあさんはごちそうでもてなし、亡くしたばかりのおじいさんに経をあげてほしいと頼みます。ところが、坊さんは偽物だったから経を唱えられません。仏壇を前に困り果てた偽物の坊さんは、ふと、ねずみが顔を出したのを見て、そのねずみの様子をそのまま経文にして唱えだします…。

浄瑠璃(三味線)
琵琶語り
舞台監督
人形

解説

渡部 八太夫
巫 美麗 (ウーメイリー)
高橋 八重
西橋 八郎兵衛 堀 八島 逸見 八里
永野 八尋 長谷川 眞八 石井 紫猿
篠田 八助 遠藤 俊八 稲村 猿久
川村 知行(上越教育大学名誉教授)

今日も楽しんで!



座員募集中! 問合せ:080-2012-9115 西橋座長

ドナルド・キーン・センター 柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI